

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	3 2 3
		決裁期日	令和 7 年 6 月 2 日
名 称	令和 7 年度第 1 回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会		
日 時	令和 7 年 5 月 3 0 日（金） 1 5 時 0 0 分から 1 6 時 1 5 分		
場 所	保健福祉総合センターかみん 2 階研修室		
出席者	大場会長、山谷委員、檜野委員、谷口委員、大村委員、羽賀委員、前原委員、三好課長、飯村主幹、加藤施設長、高田主査、田中主査、瀬川主事、梅津保健師、石和社会福祉士、赤石主任介護支援専門員、佐藤（智）主任介護支援専門員 計 1 7 名		
内 容	令和 7 年度第 1 回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会を開催しました。内容については下記のとおりです。 ○事務局職員自己紹介（移動関係） ○大場会長あいさつ ・介護保険制度がスタートしてから 25 年目となることから新聞でも特集が組まれることが多い。最近では①ケアプランの作成：誰の目線で作られているかの問題、②介護保険のサービスの活用：介護人材の不足により必要なサービスが受けられない、③身体拘束ゼロ：安全を重視した結果利用者の体力の減少、について掲載がされていた。 ・来年は第 10 期介護保険事業計画の策定の年となることからどのような課題があるのかを常に頭に入れながら進んでいきたいと思っている。 議 題 1. 令和 6 年度介護保険事業の運営状況及び令和 7 年度事業計画について(資料 1) [別紙資料 1 について飯村主幹より説明] 高齢者の人口は、わずかに減少。今後も減少の予測だが、後期高齢者は、増加しており、今後も数年間は増加していく見込。 要介護認定者数は、後期高齢者の増加に伴いサービス受給者が増加している。その介護度も要介護 3～要介護 5 の重度の保険者が増加している。要介護認定者は全国・全道の数字と比べるとだいぶ低い数字である。要因としては、介護予防の運動参加率や検診の受診率の高いことなどが考えられる。 介護保険事業基金の積立について、当初第 9 期中（R6-R8）に 2,000 万円の基金を取り崩して介護保険料の上昇を抑える予定であったが、令和 6 年度については基金を取り崩さずに事業を行えた。		

内 容	第 9 期計画介護保険サービス種類別保険給付実績について変動の大きかったところについて説明。住所地特例対象施設利用者のサービス利用や制度改正によって計画数字の設定が難しい部分があり執行率の変動が大きかった。 【檜野委員】第 9 期計画の実績 1. 居宅サービス-短所入所-短所入所生活介護の R6 執行率が 76%と低い数字だが、利用者のニーズが低かったのか？受け入れる施設側の問題なのか？ 【飯村主幹】当町の特養の事情で受入可能人数最大まで受け入れると介護人員の問題があり最大までは受け入れられない。また、施設内でのコロナ発生により短期入所（ショート）の受入を止めていたため執行率が低かった。 【大場会長】資料 1 の第 1 号被保険者数についてだが高齢者の数が減っているが高齢者率は増加しており、今後も高齢者率は増加することが予想され、そのこともあり上富良野町全体の人口も減少し高齢者率は増加するとの解釈でよろしいか？ 【飯村主幹】そのとおりである。 【大場会長】高齢者の中の高齢化が進んでおり前期より後期のほうが伸びている。確か今年 25 年で団塊世代の方たちが全て 75 歳以上になるんですよね。この事から考えると来年の今頃は後期高齢者の率が上がっているということになりますね。 【飯村主幹】今後も増加する予測である。 2. 在宅福祉サービスについて（資料 2） [別紙資料 2 について飯村主幹より説明] 理容サービスの利用が増えている要因は、色々な会議のたびにケアマネージャーなどに対してサービスの説明をし寝たきりの方だけではなく、常時車いすの方の利用も出来ることを浸透してきたものと捉えている。 配食サービスについては大幅に増加している。現在の状態で調理の場所や人員の関係でいっぱい状態である。一時的に必要な方が申請されて回復されてからもそのままの利用している実態もあることから社会福祉協議会にモニタリング調査を全員に行ってもらおう。 緊急通報システムは今年度で消防のセンター装置の保守が切れることから検討を行っていたが、今年度から札幌の安全センターでそのままの機器で受信ができるとのことであり委託先を変更する。（前田中電気） 【前原委員】委託はいつからか？ 【飯村主幹】4 月 1 日より委託している。 【前原委員】先日実際に付けている方が利用して消防に通報がいき救急車で運ばれたとのが実際にあって利用された方が大変助かったと聞いたばかりだった。実態調査に行くので変更されることを伝えたほうが良いのか？ 【飯村主幹】業者の変更と一緒に登録内容の確認の文章を送付している。実態調査の際に聞かれた際には対応をお願いしたい。
-----	--

内 容	3. 令和 6 年度地域包括支援センター活動報告及び令和 7 年度活動計画について（資料 3） 〔別紙資料 3 について加藤施設長より説明〕 総合相談支援業務の新規 R5 103 件 → R6 155 件 相談件数（訪問） R5 192 件 → R6 250 件 年々相談内容も複雑化している。実態のわからない新規の相談があったり家族の協力の得られない相談があったりしている。職員の研修相談支援業務の質が保てるよう人材育成を令和 7 年度に上げさせていただいている。 4. その他 〔上富良野町ラベンダーハイツ経営分析業務全体スケジュール（案）について飯村主幹より説明〕 現在委託契約をし、現在このような経営分析業務が進行していることについて説明。業者より報告が 8 月にされるため次回の第 2 回会議に報告させていただきたい。 5. 今後の予定について 本年度は、年 3 回の開催とし、第 2 回 10 月、第 3 回 3 月開催予定であることを確認した。
------------	--